



本展は、東京都内の銭湯とタイルの文化を考える特別展です。

4階に常設展示されている絵タイルの中には、東京のおとめ湯や桜湯等の壁面断片が含まれています。その中でおとめ湯の絵タイルは、文京建築会ユースのご尽力により資料保存がかなったものです。今回の特別展では、同会メンバーのご協力のもと、おとめ湯を起点として銭湯の魅力を探ります。また、銭湯に詳しい研究者などに声を掛けながら、写真や、関係資料などを展覧し、銭湯に使われてきたタイルについて検証します。

ただのお風呂ではなく、庶民文化の変遷を映す「まちの博物館」ともいえる銭湯。少しでも多くの方に関心を持っていただければ幸いです。

見どころポイント

- ・4階に常設設置されている絵タイルが、ここに収蔵されるまでの「物語」を展示で表現
- ・東京都文京区の若手建築家グループが協力し、東京でも関連イベントを開催。
- ・コレクション展も、銭湯に使われたタイルを中心に展示替え。

会 期 平成30年3月17日(土)～6月10日(日)

休 館 月曜日(休日の場合は翌平日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

会 場 多治見市モザイクタイルミュージアム3F ギャラリー

主 催 多治見市モザイクタイルミュージアム

企画協力 文京建築会ユース

後援 東京都公衆浴場業生活衛生同業組合

出 品 20～30点



おとめ湯破風



モザイクタイルミュージアム4階

関連企画 いずれも事前申し込みが必要です。

・5月19日 対談

(講師:町田忍先生、米山勇先生 銭湯の建築とタイルについて語り合ってください)

・5月20日 まち歩き

(講師:林丈二さん 昔の銭湯を起点に多治見のまち歩き)

※広報、取材にご協力お願いいたします※

問い合わせ先

多治見市モザイクタイルミュージアム 担当 村山

〒507-0901 多治見市笠原町 2082-5

TEL: 0572-43-5101/FAX: 0572-43-5114

URL: <http://mosaictile-museum.jp>